



総務省

Ministry of Internal Affairs  
and Communications

## 地域人材ネット

### 持続可能な循環のまちづくり

#### 大木町（おおきまち）環境課

#### ○ 登録者情報

##### 所在地

福岡県三潴郡大木町

##### 略歴

2007年2月 大木町バイオスタウン構想 公表  
2008年3月 大木町もったいない宣言 公表  
2009年6月 新エネ百選

##### 著書・論文等

日本エネルギー学会誌(2010. 2月)、クリーンエネルギー(2010. 3月)、エントロピー学会誌(2009. 3月)、日経エコロジー(2009. 6月)、ガバナンス(2008. 11月)、住民と自治(2008. 8月)、議会と自治体(2008. 7月)、環境施設(2008. 3月)、月刊廃棄物(2008. 11月)、月刊浄化槽(2008. 12月)

## ○ 持続可能な循環のまちづくり

### 取組の内容

大木町では、平成20年3月、全国で2番目となるゼロウェイスト宣言「大木町もったいない宣言」を議会全会一致で可決し公表しました。ごみの発生抑制を進め、出たごみは住民の皆さんと協力して資源化を進めることで、10年以内にごみの焼却・埋立ゼロを目指しています。「子どもたちの時代にツケを残さないこと」をまちづくりの目標におき、住民協働を進めながら、地域資源を最大限活用して、無駄のない暮らしの中にも新たな豊かさを実感できる地域づくりを目指しています。2005年2月には大木町バイオスタウン構想が第一次分として公表されました。その中心事業である、生ごみ・し尿・浄化槽汚泥のバイオマス資源化施設、おおき循環センター「くるるん」が2006年11月から本稼働を始めました。「くるるん」は今までのごみ処理施設と違い、町の中心部に建設し、いつでも誰でも見学できるようなオープンな施設になっています。2010年4月には、「くるるん」に隣接して、農産物直売所や地産地消レストランを併設する道の駅「おおき」がオープンしてたくさんの来場者で賑わっています。「くるるん」には国内のみならず海外からも年間3,000名～4,000名の視察者が訪れています。生ごみの分別は、住民の参画により大成功を収め、燃やすごみが44%削減されました。更に、2010年4月から、プラスチックの全町収集を開始し、油化して石油代替燃料とし、町の温泉施設や給食センターで活用しています。2011年10月からは紙おむつの全町収集を実施しており、資源物の分別により、ごみの焼却を大幅に減らすことができました。また、町の休耕田には農家が菜の花を栽培し、花の時期には「菜の花祭り」を開催して多くの参加者で賑わっています。菜種は収穫して、大木町産の菜種油「環のかおり」として販売しています。更に廃食用油は回収して、BDF燃料として活用しています。大木町では太陽光発電の普及においても「地域共同発電所」を立ち上げ、町ぐるみの普及に取り組んでいます。

### 実績

資源物の22分別を実施することで、燃やすごみと燃えないごみの排出量が2005年(基準年)に比べ、2011年には53%削減されました。また、ごみ処理費(し尿処理も含む)は2005年に2億2,852万円かかっていたものが、2010年には1億9,523万円となり、3,000万円以上削減されました。リサイクル率(直接資源化)は、2005年14.9%から2011年には56.5%になっています。また、「くるるん」の視察者は2011年3月までに約14,400人訪れています。町の温泉施設には、住民団体「おおきグリーンファンド」や町などが共同で地域共同発電所を立ち上げるなど、町ぐるみの取組みが進み、2011年度末までに、戸建て住宅の9.9%の家庭の屋根に太陽光発電が設置されています。

### 工夫した点や苦労した点

町ぐるみの循環システムを作るために、いくつかの大学の研究室やメーカー、地域住民や農家が参加して、社会システムを作るための共同研究事業を3年間かけて実施しました。住民の参加や関与をいかに広げるか、協力関係をどう築くのが一番大事だと思います。

### ひとことPR

ごみや環境のことだけではなく、様々な地域の資源を活かし、人・もの・経済などの循環を作ることが、持続可能な地域社会づくりにつながると思います。大量消費の文化を見直し、地域独自の新たな豊かさを発見することが地域づくりに他ならず、大木町の取組みは、そんな思いを持つ地域の皆さんに何かヒントを差しあげることができると思います。





完全無添加なたね油  
「環のかおり」



特別栽培米(ヒレハリ)  
「環のめぐみ」



## ○参考

### 取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1	地域経営改革	7	まちなか再生
2	地場産品発掘・ブランド化	8	若者自立支援
3	少子化対策	9	安心・安全なまちづくり
4	企業立地促進	○	10 環境保全
5	定住促進	11	その他( )
6	観光振興・交流		

### 関連ホームページ

大木町	<a href="http://www.town.oki.fukuoka.jp/">http://www.town.oki.fukuoka.jp/</a>
おおき循環センター「くるるん」	<a href="http://www.kururun.jp/">http://www.kururun.jp/</a>

### 連絡先

住所	福岡県三潞郡大木町大字八町牟田255-1 大木町役場環境課	その他	TEL 0944-32-1013 fax 0944-32-1054
----	----------------------------------	-----	--------------------------------------